

【基本情報】

クラブ名	川崎フロンターレ		
活動テーマ	地域社会の活性化(クラブと地域社会の関わりを深める)		
実施場所	川崎フロンターレ末長事務所、川崎市平間銀座商店街		
協働団体	株式会社 川崎フロンターレ	クラブ OB	川崎市平間銀座商店街
参加者	神橋 良汰	土屋 權大	野田 裕人
活動期間	2025 年 9 月 16 日(火)		

【活動報告詳細】

■活動目的

「川崎フロンターレというクラブを理解する」

- ・OB 選手や社長からクラブの歴史や地域との関わりを学び、川崎フロンターレが「地域に根付いたクラブ」であることを理解する。
- ・地域や商店街との取り組みや歴史を知り、商店街の方々との交流を通じて、川崎市民・地域の想いを実感する。
- ・その経験から、多くの人に支えられていることへの感謝の気持ちを持ち、これまで以上にサッカーに真摯に向き合う姿勢を育む。

■活動内容

□講話の聴講

- ・吉田明宏社長より、クラブは川崎の地に根付き、地域とともに発展してきた歴史について学ぶとともに、今後フロンターレは「インフラ」となり、なくてはならない存在を目指しているという話を伺った。
- ・中西哲生クラブ特命大使からは、クラブ発足時からの地域との関わりや、一流選手になるためのヒントについて学んだ。

□平間銀座商店街での取り組み

- ・選手自身が普段事業部スタッフが行なっているスケジュールポスターの配布・貼り替えを実施。
- ・商店街の方々と直接交流し、激励をいただくとともに、地域の支えを実感。
- ・商店街会長から、クラブと商店街のつながりや歴史についてのお話を伺った。

■選手コメント

神橋 良汰 選手

『①②の講義ではお二方の成り行きやキャリアをお話いただき、理解を深めた。特に印象深いものとして、中西哲生氏が体現する一流のスポーツ選手の在り方について驚いたと共に、目指すべき在り方であると感じました。一流は与えられた役割だけでなく、自ら行動できる人間であるという部分に強く共感した。私自身もサッカー界でトップを目指しつつ、川崎フロンターレの描くビジョンにある市民・地域社会が一体となれるような活動に主体的に参加したい。』

土屋 權大 選手

『中西哲生さんのお話を伺い、セカンドキャリアを充実させるためにも、川崎フロンターレ在籍中に「土屋權大」という名前を広く発信することが重要だと感じた。吉田社長のお話や商店街の方々と交流し、地域とサポーターに愛される選手を目指し、その思いに応えるためにも、早くピッチで結果を残して、サポーターと喜びを分かち合いたいと思いました。』

野田 裕人 選手

『新人研修を通して、改めてこのクラブは街に支えられて成り立っていると感じた。一番印象に残ったのは中西さんの「みんなフロンターレの選手のパーソナリティーがサポーターは好き。」という言葉。サッカーだけやってもダメだし、人間性だったり、生き様だったり、ピッチ外の部分も応援される人間にならないといけないと思った。ピッチで結果を出すことももちろん大切にして、それ以外のところでもプロサッカー選手としてより自覚をもって生活していきたい。』

■活動写真

